

スポーツセンター



はやし ふゆひろ
林 冬彦 議員

Q 関連団体に問題が見つかった場合の対応は
A 可能なところは管理者を通じ話す

市議会HP公開の
録画映像をみてください

議員 私が9月議会一般質問で取り上げた戸田市スポーツセンター

に関して、NPOのスポーツクラブが県に提出している事業報告書を、指定管理者からの報告書記載の数字と突き合わせてチェックした結果、各事業の受益対象者の人数や受け取り会費の記載に整合性の取れない部分がNPOの報告書に3年分見つかった。指定管理者に関連する団体に何かが問題があった場合、市は指定管理者に対し調査を含めた指導を行うことができるかと市長も部長も答弁されたが、どうか。

市民生活部長 中身に関して可能なところは指定管理者を通じて話をする。

議員 加えて、そのスポーツクラブに指導を受けている子の親御さんたちから複数の告発があった。



▲スポーツセンター指定管理者報告書

一般質問

災害対策

Q 地震・気象災害対策のさらなる強化を
A たゆまぬ努力を積み上げていく

議員

地震・気象災害対策のさらなる強化を。①近年、地球温暖化による気象災害が激化している。

本市は、地球温暖化対策、ヒートアイランド対策をどう推し進めていくのか②市民の「命を守る」防

災・減災対策の基本的な考えは③「住民が作る地区防災計画」の策定に向け、どう支援していくのか④災害時にどう行動すべきかを学ぶ「子ども防災手帳」の作成は⑤「浸水深・避難場所」標示の設置

場所拡大は⑥「逃げキッド」教材を活用し、逃げる力を育む「マイ・タイムライン」の作成は⑦全公立

小中学校の体育館に冷暖房設置は**環境経済部長** ①地球温暖化に対し、自治体の役割は重要である。削減目標達成に向け、今後とも、

たゆまぬ努力を積み上げていく。**危機管理監** ②いつ発生するかわからない大規模災害から、いかに「命を守る」かが根幹であると考え

ている③地域ごとに実効性のあ



てづか しずか
手塚 静枝 議員

る計画策定を支援していく④ハザードブックにおいて、「我が家の防災対策」という項目があるため、これをご活用いただきたい。⑤多くの市民に認識してもらいう設置場所を研究する。

教育部長 ⑥防災教育の推進は重要である。校長会に情報提供する⑦エアコン導入は大きな課題と認識している。研究を始めている。

その他の質問

Q さくら川護岸改修工事の早期整備を。

A 河川整備は重要。工区増等を検討。



▶浸水深・避難場所標識



▲防災ラジオ

高齢者行事



つちや えみこ
土屋 英美子 議員

Q シルバースポーツ大会の改善を
A 誘導人員を増やすなど安全を確保

議員 シルバースポーツ大会は今年44回を迎え、800人が参加した。高齢者が毎年楽しみにしている行事の一つであるが、改善の要望が出されている。マイクの声が聞こえにくく行動ができないとの声があるが、対策は。

福祉部長 参加者が待機している2階席にも人員配置するほか、ワイヤレスマイクを活用し、放送内容を復唱するなどの工夫をする。

議員 階段に多くの人が集まってしまうスムーズに行動ができないとの声があるが、対策は。

福祉部長 階段に多くの参加者が集まることは危険が伴うため、集合場所の拡充や、誘導人員を増やして安全確保を図りたい。

議員 スポーツセンター第一競技場の階段にエレベーターの設置はできないか。

市民生活部長 大規模改修では平成31年度に基本計画の策定を予定。エレベーターの設置や要望事項等



▲今年もにぎわいを見せたシルバースポーツ大会 (10月6日)

一般質問

高齢者政策

Q シニアが居心地よいまちづくりを
A 高齢者も生きがい持てるまちを目指す

議員 大部分の人が元気で長生きできる「人生100年時代」が到来しつつある。個人の長寿化、社会の高齢化に対応した社会システムを作るために、考え方や税の使い道を抜本的に変える必要があると考える。健康寿命を延ばし、高齢になっても元気に活動できる社会を作れば納税や消費が増し、地域経済は活性化。若年者にとっても社会保障負担の削減のほか、元

気な高齢者を見れば将来に希望が出る。収入のうち貯金に回っていた一部を消費に回し、今の生活を楽しむこともできる。高齢者ばかりではなく、むしろ全年齢層に効果は出る。そこで、①地域における高齢者就労の場として人気のある、農業・園芸分野や、子育て・教育分野の職種を開拓し、高齢者の就労人口増を図っては②民間スポーツクラブの利用支援、ウォーキングステーションや温水プールの整備等、高齢者の健康づくりの

さかい いくろう
酒井 郁郎 議員



高齢者にやさしいまちをつくる！

裾野を広げては③tocoバスの無料化、先進的なリハビリ施設の誘致、高齢者に交付する文書のわかりやすさ向上等、社会活動を支える総合的な取り組みを。

福祉部長 TODA元気体操を通して高齢者の健康づくりや地域交流を図っている。あらゆる分野で先進事例を参考に各部署・機関と連携し、高齢になっても地域で健康に生きがいを持って安心安全に暮らせるまちを目指す。



▲「健康づくり」と「地域づくり」、「高齢者の交流」一石三鳥のTODA元気体操 (平成28年7月 馬場町会)